

申請者	神戸大学大学院 システム情報学研究科 助教 中本 裕之	2045012
国際会議名称	The 17th International Symposium on Applied Electromagnetics and Mechanics (ISEM2015)	
開催期間	2015 年 9 月 15 日～9 月 18 日	
開催場所	淡路夢舞台国際会議場（兵庫県淡路市夢舞台 1 番地）	
申請者の役割	副組織委員長	

概要：

本会議、第 17 回電磁気・機械技術の応用に関する国際会議は、発展が目覚ましい電磁気技術と機械系技術の基礎と応用を対象とし、各々の最新研究成果の情報交換と相互の関連を進展させることを目的として開催された。場所は兵庫県淡路市にある淡路夢舞台国際会議場で、会期は 9 月 15 日から 19 日であった。

学術的意義の大きい電磁気現象の定式化、逆問題、シミュレーションから、実用化を意識した電磁気応用のセンサやアクチュエータ、先端の電磁気技術、非破壊検査まで幅広いテーマを扱った。特に、適切な磁気の利用は人体に無害なことから生体医療応用、人間とのインタラクションが期待されるロボティクスや医療応用の研究発表が「Robotics for Health and Rehabilitation」や「Bio-medical Engineering」などのセッションで発表され、いずれも活発な議論となった。これら一般の参加者による口頭発表は 169 件、うちポスター発表が 114 件に加えて、基調講演が 2 件、招待講演が 2 件なされた。この発表件数は前回開催時よりも件数増となっており、今回の会議が盛大であったことを示している。発表件数に合せて参加者も 305 人を数え、参加国は 14 か国に上った。計画時の 2 倍近くの多くの参加者を得ることができ、本会議を大きな成功に導くことができた。

本会議は会期を終えたが、会期中の議論を反映させた論文の投稿を募り査読を経て International Journal of Applied Electromagnetics and Mechanics の特集号への掲載がプロセスとして残っている。これにより会議で発表した成果を会議中のみならずその後には渡って国内外に周知する予定である。

最後に、公益財団法人立石科学技術振興財団から国際会議助成を賜ることにより、このように本会議を成功裏に終えることができた。ここに同財団に厚く御礼を申し上げます。